

第9回

明治丸シンポジウム

日時：2010年

7月19日

(月曜日・海の日)

14時00分～18時00分

明治丸函館港停泊の写真

テーマ：「日本の海の夜明け」 会場：東京海洋大学 越中島会館2階講堂

国の重要文化財明治丸は、西欧列強と肩を並べるために、明治6年明治政府が英国に発注したものです。明治丸の船内には、伊藤博文がサインした発注書のコピーが展示されています。200年以上続いた鎖国時代から変革を遂げた時代、明治丸は日本の国の期待を背負い、インフラとしての灯台の整備、明治天皇の東北・北海道地方巡幸の御用船、排他的経済水域を含む面積で世界6位となるきっかけを生んだ小笠原との交渉など、数々の歴史舞台に登場しました。明治丸前後の時代は、日本の国を新しく構築するために必死で頑張った若者たち、それを容認した大人たちが居た時代です。今注目を浴びる坂本龍馬も、この時代を駆け抜けた1人でした。当初の耐用年数17年を超えて20年以上就航した明治丸は、岩崎弥太郎によって創設された東京高等商船学校に譲渡され、係留練習船として、海の若者達を育てることになりました。現存のわが国最古の鉄船で、帆を備えた汽船明治丸の登場する時代、日本と日本人の人々がどんな足跡を残したのかを検証してみます。

プログラム

- 14:00-14:10 開会のバグパイプ演奏
- 14:10-14:15 開会のあいさつ (東京海洋大学学長)
- 14:15-14:20 来賓挨拶 (江東区長)
- 14:20-15:20 基調講演「開国前夜の日本人と海」
植松三十里 (作家)
- 15:20-15:40 休憩
- 15:40-16:30 明治丸クイズ出題と解説 (さかなクン)
- 16:30-16:40 明治丸の歴史DVDについて
- 16:40-16:45 閉会挨拶 (NPO法人 江東区の水辺に親しむ会)
- 16:45-18:00 懇親会



植松三十里



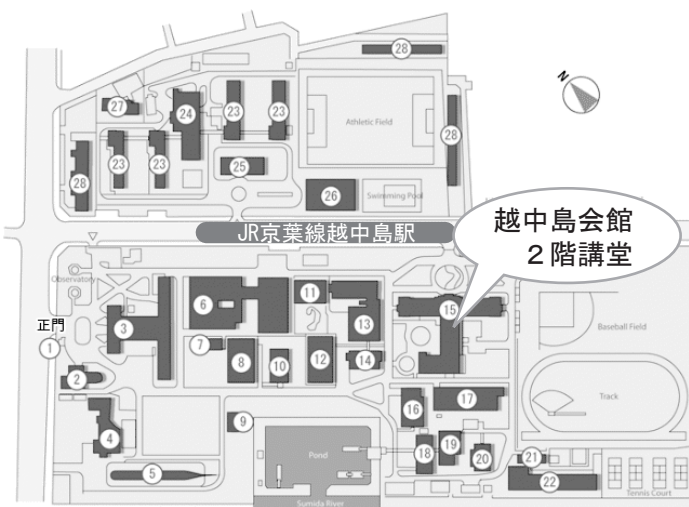
さかなクン

国立大学法人 東京海洋大学越中島キャンパス

住所：135-8533 東京都江東区越中島2-1-6

JR京葉線 越中島駅2番出口から徒歩約2分

都営大江戸線・東西線 門前仲町4番出口から徒歩約10分



越中島会館
2階講堂

お申込み：お名前・住所・電話番号・E-mailアドレス、「明治丸シンポジウム申し込み」と明記のうえ、ハガキもしくはFAX、E-mailにてお申込み下さい。 FAX:03-5245-7394 E-mail:shoji@kaiyodai.ac.jp

主催 国立大学法人 東京海洋大学

共催 NPO法人 江東区の水辺に親しむ会

後援 東京都江東区

深川観光協会

東京都小笠原村教育委員会

株式会社 竹中土木

協力 東京パイプバンド